

令和8年度 学校評価報告書(目標設定)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程・学習指導	○小中高一貫性のある教科指導を中心とした教育課程の編成を行う。 ・「みどりの学び」の充実(教育課程編成表と日課表の改定)	○小学部から高等部までの各教科のねらいや指導内容を共有し、系統的で一貫性のある教科指導の実践につなげるための検証を進める。	①教科会において1～2年目で行った各教科の指導内容を共有し、本校の教科指導について年間指導計画の見直しを行う。 ②学部間で新教育課程編成表の情報共有をし、新教育課程編成表と新年間指導計画の整合性を図り、小中高一貫性のある教科指導の実践につなげるための検証を行う。	①年間指導計画を基にした実践を振り返り、各教科のねらいや指導内容の見直しを行うことができたか。 ②学部間で新教育課程編成表の内容について情報共有を行い、新教育課程編成表と新年間指導計画との整合性について検証が行われたか。また小中高のつながりを意識し一貫性のある指導の実践に向けた改善につなげることができたか。
2	(幼児・児童)・生徒指導・支援	○アセスメントに基づく「個別最適な学び」と「協働的な学び」を両面から推進する。 ・自立活動の視点を踏まえての実践の推進	○育てたい力の中から「伝える力」にフォーカスし、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点から授業改善に取り組む。	①-1 自立活動の視点で日々の振り返りを記録する。アセスメントを指導に生かす。 ①-2 1人1台端末等の活用についての情報共有をする。 ②引き続き授業改善の視点で「個別最適な学び」や「協働的な学び」の視点を入れた授業を実施する。	①-1 自立活動の視点を踏まえた日々の振り返りが記録され、児童生徒の実態把握や変容の捉えに繋がっていたか。またアセスメントの結果を日常の指導や授業改善に生かすことができたか。 ①-2 端末等の活用方法について、各学部・各グループで実践事例や工夫点の情報共有が行われたか。 ②授業改善の視点を踏まえ、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を意識した授業実践が行われたか。
3	進路指導・支援	○キャリア教育の視点に立ち、発達段階に応じた進路指導・支援を充実させる。 ・「キャリア教育の視点に立った育てたい力」の作成と活用	○「キャリア教育の視点に立った育てたい力」を全校に周知する。 ・児童生徒のステージに応じたキャリア教育の実践について教員の理解を深める。	①-1「キャリア教育の視点に立った育てたい力」を全校に周知する。 ①-2 検討した校内実習、再検討した校内実習の評価基準で実践し、見直しを行う。 ② キャリア教育や進路に関する教職員研修を実施する。	①-1 本校として育てたい力について全教職員に周知することができたか。 ①-2 検討・再検討した校内の内容及び評価基準に基づいて実践が行われたか。また実践を成果や課題について振り返り、基準や指導内容の妥当性を検証することができたか。 ②教職員研修を計画的に実施し理解を深めることができたか。

4	(地域との協働)	<p>○センター的機能を発揮し、地域の支援教育向上に努める。</p> <p>・地域への教育情報の発信を充実させる。</p> <p>○交流及び共同学習、地域での活動を通して相互理解を深める。</p> <p>・双方向での学校間交流及び地域交流の充実。</p>	<p>①「みどり支援学校のHPに支援に係る情報がある」ことを広く周知する。</p> <p>②双方向での学校間交流の検討を深めながら、地域での活動の発信と活動を継続する。</p>	<p>①「みどり支援に支援情報がある(借りられる)」ことを周知する。</p> <p>・様々な方法で地域へ発信する。</p> <p>・地域の教職員に向けた公開講座を開催する。(事業所など含む)</p> <p>②双方向での学校間交流を、見直しをしながら継続する。地域での活動の発信と活ら継続する。地域での活動の発信と活動を継続する。</p>	<p>①みどり支援に支援情報や貸出資料があることについて、校内外に分かりやすく、様々な方法を活用して発信することができたか。また、地域の教職員や関係機関(事業所等)を対象とした公開講座を実施することができたか。</p> <p>②双方向での学校間交流について、目的や内容を適宜見直しながら継続的に実施することができたか。また、地域と関わる活動の様子や交流の意義や成果について共通理解を図るとともに、今後も継続して取り組むための改善や工夫を行うことができたか。</p>
5	(学校管理 学校運営)	<p>○災害を想定した防災対策を進める。</p> <p>・現実的な防災教育と組織的な避難体制の構築と実現</p> <p>○安心安全な学校管理・学校運営の体制の確立を推進する。</p> <p>・各種マニュアルの改定と運用、会計の構築と運用</p> <p>○働き方改革の促進と意識の醸成</p>	<p>○地域、保護者も含めた防災対策の課題点を見直し業務内容・マニュアル等を検討する。</p> <p>○改定したマニュアルやシステムの運用・学校運営の体制について検証する。</p> <p>○teams と統合型公務支援システムを活用し、情報の整理や業務の効率化、スムーズな移行を図る。</p>	<p>①-1 緊急参集(福祉避難所)マニュアルに基づいた研修会を実施する。</p> <p>①-2 様々な想定で避難訓練を継続実施し、避難困難者への対応ができる体制づくりを検討検証する。</p> <p>①-3 地域、保護者の方も含めたみどり防災デーを計画立案する。</p> <p>①-4 シェイクアウト訓練と引き渡し訓練を行いマニュアルの見直しをする。</p> <p>②改訂したマニュアルについて、それぞれのチームで洗い出された課題点を見直し、業務内容・マニュアル等を検討実証する。</p> <p>③-1 管理職と連携し、校務分掌業務の洗い出しと整理をして、業務の削減、見直しをする。</p> <p>③-2 引き続き、Teams と統合型支援システムを活用し、情報の整理や業務の効率化を図る。</p>	<p>①-1 緊急参集(福祉避難所)マニュアルの内容を踏まえた研修会を実施し、災害時における教職員の役割や対応について共通理解を図ることができたか。</p> <p>①-2 様々な災害や状況を想定した避難訓練を継続的に実施し、避難困難者への対応を含めた課題の把握や体制づくりについて検討・検証を行うことができたか。</p> <p>①-3 また、地域や保護者と連携したみどり防災デーの計画立案ができたか。</p> <p>①-4 シェイクアウト訓練及び引き渡し訓練を実施し、地震発生時から保護者への引き渡しまでの一連の対応について確認することができたか。また、訓練を通して明らかになった課題を基に、マニュアルの内容や運用方法について検討・見直しを行いより実効性のある安全体制の構築につなげることができたか。</p> <p>②改定したマニュアルや様式を運用し、取組状況を堅守することができたか。</p> <p>③-1 管理職と連携し、校務分掌業務の洗い出しと整理を行えたか。</p> <p>③-2 システムの課題点を見直し、円滑な運用につなげることができたか。</p>